

見せましょ「署名」のちからを

あなたの一步が医療・介護を向上させ、社会を豊かにします

2020年8月改訂版
日本医療労働組合連合会

日々忙しい中での署名の取り組みは「大変」と感じる人もいるかもしれませんが、この「署名」かなりのちから持ちなのです。医療・介護労働者が働き続けられる職場は、安全・安心な医療・介護の実現と表裏一体です。あなたの一步が医療・介護を向上させ、社会を豊かにする一步になります。

署名を取り組むにあたって、ぜひこのリーフを読み合わせして、署名の意義や効果をみんな確認し、署名に取り組む意識が高まれば幸いです。

その1「署名」を知ろう

(1) 国会請願署名(署名)は国民の権利

「請願」とは、私たちが国に要望や意見を述べる事ができる国民の権利(憲法第16条)です。要望や意見に賛同する人の署名を集め、紹介議員に託します。国は国民の「請願」を誠実に受ける義務があります。

(2) 署名のちから

①誰でもできる

年齢制限はなく、日本在住であれば外国の方でも署名できます。だから周りの人みんな、誰にでもお願いできます。

②署名は国民の声

署名の数は国民の声の数です。多ければ多いほど国に対して力を発揮します。

③地元議員を動かす

紹介議員をふやすためにも地元住民の署名は重要です。多数の住民の声(署名)には地元議員を動かす力があります。

④署名は宣伝行動そのもの

署名をお願いする時に、私たちが要望していることや重要性を説明することそのものが宣伝行動です。宣伝が広がれば世論が高まり、社会問題として政治的解決が求められるようになります。

⑤「署名」宣伝行動で元気になる

国民にとって医療や介護は身近な問題です。そして過酷な労働実態も知られています。だからこそ私たちの署名は集めやすく、時には署名の順番待ちで行列ができることもあります。やれば「元気になる署名」と言われています。

署名を知れば
魅力がわかる



(3) 署名を審議させる

紹介議員により国会に提出された署名は、内容にあわせた委員会（夜勤制限・大幅増員署名は厚生労働委員会）で採択か否かを審議し、委員会で採択されると本会議に諮られます。委員会で採択させ、本会議で決議させるためには、委員会の中に紹介・賛同議員を多数にさせる必要があります。

私たちが世論をつくるよー



(4) 採択された請願は具体化が図られる

採択された請願が、内閣において措置することが適当とされると、その採択請願の処理経過が毎年おおむね2回、内閣から議院に報告されることとなります。採択したきりで具体的な手立てを講じていなければ、内閣の責任が問われることとなります。

(5) 日本医労連、運動（署名）の歴史

1989年 看護師が白衣で地域に出て運動するナースウェーブ始まる。

1992年 3年間で540万筆の署名、自治体決議1500議会を集約。

国会議員賛同署名275人、国会質問のべ150人

「看護婦確保法」制定される。診療報酬アップで、看護師初任給も大幅アップ

2005年 医療・介護労働者の大幅増員を求める運動提起。署名に取り組む。

2007年 150万筆の署名、紹介議員153人、自治体決議880議会を集約し、参議院全会一致で採択

2008年 医師養成数の増加を開始

2009年 介護職員処遇改善交付金

2011年 「5局長通知」発出

2013年 「6局長通知」発出

2014年 医療勤務環境改善に関する改正医療法成立
医療・介護総合確保基金創設

2015年 政府として初めて病院の勤務環境に関するアンケート調査実施

2016年 診療報酬改定で夜間勤務改善項目が盛り込まれる
2014年から2016年の3年間で127万筆署名、紹介・賛同議員113人、自治体決議305議会

2017年 介護報酬を臨時でプラス改定し、介護職員処遇改善加算を上乗せ

2019年 「看護師確保法・基本指針」の改正の必要性を検討することを閣議決定

日本医労連に
歴史あり



請願が採択されることで改善はすすみますが、採択に至らなくとも、請願署名が数多く提出され、紹介議員が増え、国会審議での関連質問が増えることにより、結果として政府が請願内容について対策を取らざるを得なくなります。

(6) 全国にいる日本医労連の仲間

日本医労連の仲間は全国 47 都道府県に 17 万人以上います。1 人 10 筆の署名をみんなが集めれば、国会決議につながった 2007 年の署名数（150 万筆）を上回ることもできます。全国の仲間がもう一歩足を踏み出して「署名」に取り組めば、私たちと、支持してくれる国民の声により、要求実現の可能性は確実に広がります。

その 2 「署名」を集めよう

(1) どこで集める？誰から集める？

基本は職場です。なぜなら私たち医療・介護労働者自身の要望だからです。まず組合員みんなに署名用紙を渡しましょう。そしてニュースや学習会、手紙などで目的や重要性を知らせましょう。いろいろな工夫で集めている職場があります。

◇まずは執行委員会の場で署名し、署名集約をすぐ報告。これで“署名ゼロ”組合からすぐに脱出

◇職場ごとの袋に署名用紙を入れて配り、終了した人は袋の名簿をチェックする

◇病院に依頼し、署名コーナーを設置する、病院玄関前での署名行動を実施する

◇退勤時間調査時、対話した人に依頼する

◇いつもカバンに署名用紙を入れて、出かけた先々で集める

◇家族や友人も力強い味方です。自分の名を書くだけでなく集めてもらいましょう。

- ・ひとりで 900 筆集めた職員のお母さん
- ・お父さんが町内会をまわった
- ・夫が職場で集めた
- ・毎年同窓会で依頼している

◇目標を立て、やりきった人を顕彰するなど、各組織で署名の取り組みを盛り上げる工夫を

こんなに頑張った
人たちもいるよ



(2) 署名行動の前に確認

署名の達人ばかりがいるわけではありません。署名行動の前に短時間でも打ち合わせをして、目的や目標の確認はちからになります。

①「署名」の宛先、請願の内容、国民にとってなぜ重要なのかを確認しましょう

②中身の確認ができたなら、どう訴えるかキャッチコピー（簡潔なフレーズ）を考えましょう。声掛けがしやすくなります。

「コロナウイルスからいのちを守るためにもご協力をお願いします」「看護師、介護職員が足りません」「私たちは安全・安心な医療・介護の実現をめざしています」

③声掛け例やマイク用トーク文例が作っていると安心です。

④署名してくれた人に笑顔でお礼を言うのはもちろんです。

(3) 街頭署名成功の秘訣

街頭宣伝の成功はまず目立つことです。歩行者は動いていますから、誰が何を求めてどこにものを持っているか一目でわかる工夫が必要です。

①白衣は最大の宣伝グッズ。着るだけで美しく見える。

②人目を引く、興味を持たせる宣伝グッズを準備する

横断幕 パンチングバルーン 着ぐるみ ユニフォーム等

③「誰」が「何」を「なぜ」が見える

医労連 **医療・介護労働者**が、**「いのちを守る」ため署名**をしていることがわかる**旗、横断幕、プラスター等を準備**

④足止めさせる工夫

自分からかけよって署名してくれる方もいますが、多くの人は通り過ぎていきます。歩行者の足を止めさせる工夫が必要です。笑顔の声かけはもちろんですが **あめ 風船 血圧測定 シール投票**など、つい足を止めてしまう工夫があると効果的。

⑤署名の呼びかけでは、署名の効果を話の中に入れる

「皆さんにご協力いただいた署名を国会に提出することにより、『この10年間で医師の養成数が年間1600人以上増えました』『看護師の過酷な夜勤実態の改善に向けた努力を政府が始めました』『介護職員の処遇改善策を打ち出しました』」など、署名の効果を伝えつつ、「しかし政府の対策はまだ不十分です。引き続き国会請願署名にご協力をお願いします」と引き続き署名が必要なことも訴えると、署名に立ち止まる人が増えます。

⑥一番大切、明るく、楽しく

「正しいことは伝わりにくいが、楽しいことは伝わる」

(4) 議員要請の秘訣

①国会議員要請ではぜひ議員に直接訴えたい。そのためには事前に地元事務所にアポイントメントをとりましょう。議員に会えなくても対応が違ってきます。

②議員は住民の声を求めています。地元事務所を訪問して、実態を知らせ、できれば現場視察も要請しましょう。

③議員要請も白衣は効果的です。

④要請はうまくしゃべるより一生懸命が心をとらえます。職場実態を伝えましょう。

⑤行動にはぜひ若手を誘いましょう。

(5) 出発

打ち合わせが終わったら、さあ出発です。

あなたの周りにも署名や要請行動の達人がいます！
テクニックをぬすもう。

【注意!!】

下記の場合、議員や政党事務局に提出する際に受け付けてもらえない場合があります、注意が必要です。

①氏名(苗字)、住所起債時に「〃」や「同上」

②住所の記載欄に都道府県や市町村の記載がない

③番地の記載がない

